

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

れんげプチフルール保育園

れんげプチフルール保育園は、0～2歳までの小規模保育所として、平成26年3月に開園し、「子どもたちが今日も一日楽しかった、明日も来たいなと思って帰れる保育」に日々取り組んでおります。

まだまだ保育の歴史は浅いですが、子どもたちの気持ちに応答的に応えていくことや、子どもを一人の人として丁寧に関わる保育、集団生活の中に保育士との1対1の関係を育てる時間を取り入れて保育しています。赤ちゃんの頃から毎日安定した生活を送ることが子どもたちの心と体の健やかな成長につながると考え、集団と個の関係を調和しながら保育していくよう工夫を重ね実践しているところです。

定員19人で「少人数の家庭的な保育園」を目標に掲げて保育しておりますが、保護者の方が何を「小規模保育所」に期待していらっしゃるのか、園としてできることは何なのか、「仏教保育」実践園として育み伝えられることは何か、を模索しながら、姉妹園である「れんげの花保育園」に助けられ、行事や日々の保育で連携しつつ、よりよい保育をめざして見直しや改善に取り組みたいですと考えます。

今回、当園の姿勢や取り組みに評価委員会の皆様よりきちんと評価を頂き、開園以来の積み重ねが結果に反映された事を嬉しく受け止めています。今後保育に取り組む上で職員の大きな自信や励みとし、来年度以降今回の結果を生かして保育の見直しなどをさらに進めていきたいと思っております。

第三者評価の準備や書類提出をする過程で、職員間で何回も話し合い情報共有した中で多くの気づきがあり、様々な改善を図ることができました。雑務に追われななか出来なかった保育の振り返りや総括をするよい機会となり、職員間の絆も深めることができ感謝しています。第三者評価の真の目的が保育の質の向上維持にあることを実感し、今後の保育に貴重な財産となりました。

今回戴いた評価結果を基に職員間で研鑽をはかり、子どもたちの最善の利益のために、保護者との連携や自己反省の上に立ったよりよい保育をめざして一層の努力と改善を図って参ります。